

# 学校力の更なる向上に向けた具体的な取組

～教育の質の向上を目指す体制の整備や授業改善の工夫～

釧路市立愛国小学校  
学級数 24 ( 5 )  
(校長 種市 文彦)

## I はじめに

本校は、平成 30 年度から、「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校として、学校経営方針「学校力を高め、教職員が一体となって信頼に応える学校」の下、目指す子ども像「知・徳・体の調和の取れた生きる力を身につけた子」の実現に向け、学校マネジメントや人材育成、教育課程・指導方法について、教職員の連携・協働による包括的な学校改善を推進している。

校長のリーダーシップの下、個々の教職員の力に過度に依存しないよう、学校力を高め、保護者や地域の信頼に応える学校づくりを目指しており、今年度は、更なる教育の質の向上に向け「教職員の元気づくり」と「よく分かる授業づくり」を取組の中心に据えて取り組んでいる。

## II 実践の概要

### 1 教職員の元気づくりの取組

#### (1) 学年団方式による協力体制の強化

各学年では、学級担任に特別支援学級の学級担任を加えた「学年団」を構成し、学年業務を分担することで協力体制を強化している。これまでも学年内で教科指導や学校行事の推進等の担当を分担してきたが、そこに特別支援学級の学級担任が加わることで、学習進度や学校行事の取組等における教員間の共通理解がより一層図られるとともに、教職員一人一人の専門性や個性が活かされ、主体的、意欲的に教育活動を推進するようになってきている。

職員会議資料 令和2年度 愛国アクションプラン (学年団方式・教科担任制の導入へ)					
学年	人数	学年団		学年団フリー	
		通常学級担任	特支担任	(指導員・事務・養護)	
1年	5名	学年主任 初任1年目 転入者 文化部長 1組 2組 3組 4組	子ども支援部長 特支Co	主幹教諭 学校力加配生活部長 6年理科 算数・理科	
2年	4名	学年主任 初任4年目 研修部長 1組 2組 3組	初任1年目 特支・自情	教務主任 少人数加配 期限付教諭 フリー 3～6年算数 5・6年家庭科	
3年	5名	学年主任 初任3年目 初任2年目 1組 2組 3組	期限付教諭 期限付教諭 特支・知的 特支フリー	通級加配 通級加配 ALT 特支Co ボランティアCo 拠点校配置	
4年	4名	学年主任 初任2年目 保体部長 1組 2組 3組	転入者 特支・自情	事務主任 養護教諭 スクールサポートスタッフ 学校事務 保健主事 校務補助	
5年	4名	学年主任 初任2年目 転入者 1組 2組 3組	期限付教諭 特支・肢体	時間講師 初任者講師 専攻科上・専攻科 初任者指導	
6年	4名	学年主任 初任3年目 研究センター専門員 1組 2組 3組	期限付教諭 特支・自情		

**「学年団フリー」(学級担任以外の教員)**  
学年団フリーは、学年・学級の様々な業務や分掌に関わる業務、学校行事の取組などについて、業務の進捗状況を適宜把握し、全体をサポートする。

**「スクールサポートスタッフ」**  
スクールサポートスタッフは、16時以降の時間帯で勤務し、夕方の打合せ時の電話対応やHPの更新、各種名簿整理等についてサポートをする。

**初任段階教員**  
初任段階教員を各学年団にバランスよく配置し、複数体制でサポートをする。

学年団で特支担当が担う主な業務		学校力向上推進チーム	
1	学年の事務作業サポート(学年会計)	推薦リーダー	教務主任 サブリーダー 主幹教諭 学校力加配
2	学年行事や学校行事全般のサポートや業務割り当て	推進メンバー	校長 教頭 事務主任 少人数加配
3	学年の教科担当(交流学习等の内容に応じて)	分掌メンバー	各分掌部長
4	その他の学年業務	学年メンバー	各学年主任・特支代表
		アドバイザー	時間講師 初任者講師

## (2) 教科担任制など業務分担による児童と向き合う時間の確保

教員の専門性を生かし、算数科や理科の教育の充実を図るとともに、高学年の学級担任の業務負担を軽減し、児童と関わる時間を確保するため、一部教科の教科担任制の導入及び児童会活動の担当の見直しを実施した。

### ① 理科専科・家庭科専科

理科専科、家庭科専科として担当者を3名配置し、主幹教諭が第6学年理科、学校力向上加配が第4、5学年の理科、再任用の教員が家庭科を担当している。担当を配置したことにより、授業準備の効率化が図られたり、理科室・家庭科室を中心とした特別教室の環境整備が進んだりするなど、理科の実験や観察、家庭科の調理に係る学習の指導が充実してきている。

また、複数の教職員が学習指導に携わることで、授業スタイルの共有や学習規律の徹底に組織的に取り組めたり、特別な配慮を必要とする児童について、統一した指導の手立てを徹底できるようになったりしてきた。

このような取組により、高学年の担任が児童に向き合える時間の確保ができてきた。

### ② 児童会担当者の見直し

児童会活動に係る指導を低学年の学年団が中心となって行うことにより、高学年の学級担任の業務の負担軽減が図られ、学級事務や教科指導の教材研究に活用できる時間が増えた。勤務時間外で行うことが多くなっていた業務が大幅に削減され、児童に係る時間に余裕ができるなど、働き方改革を推進することができた。

## (3) 子ども支援部の設立

学校経営の重点となっている特別支援教育の充実に向けて、特別支援教育コーディネーターを中心とした分掌「子ども支援部」を新設し、児童一人一人の実態に応じた教育的支援を実現するための体制づくりを推進している。

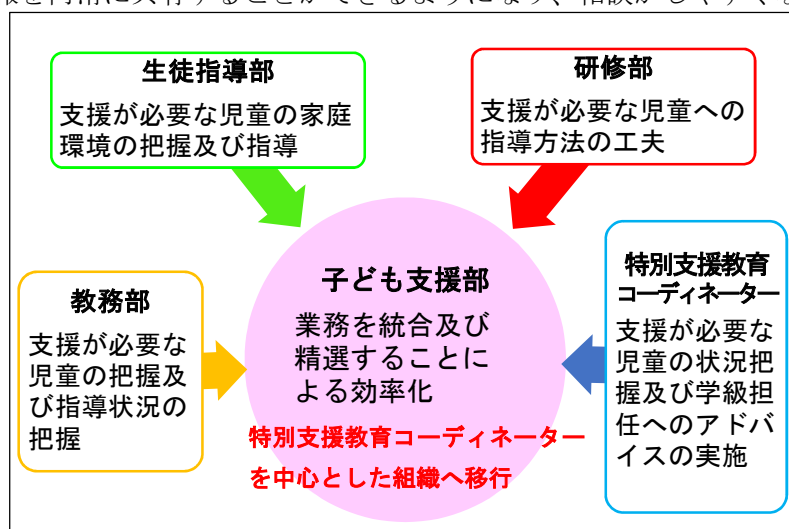
業務は、特別支援教育に係る対応だけではなく、不登校児童への支援など、生徒指導上の諸課題に係る業務や幼稚園や保育園、中学校等との引継ぎなどの校種間連携の業務も担っている。

学校評価に係る教職員アンケートでは、「子ども支援部が子ども支援委員会を定期的開催することで、児童に係る様々な情報を円滑に共有することができるようになり、相談がしやすくなった」「困り感のある児童の実態把握を丁寧に行い、保護者に伝えることができた」など、肯定的な意見が多く見られた。

また、これまで各分掌に分散していた業務を精選し、必要な業務について「子ども支援部」が担当することにより、児童理解や支援体制がより充実し、全ての教育活動の基盤となる学年経営、学級経営の安定につながっている。



【専科教諭等の配置の工夫】



【「子ども支援部」へ各分掌の業務を統合】

## 2 よく分かる授業づくりに向けた取組

### (1) 「よく分かる！愛国小学校」の拡充

学習指導や生徒指導の統一・徹底・一貫・継続を図るため、保護者には学校体制や約束事となる内容、教職員には学習指導や生徒指導や朝学習の進め方等を一枚の資料にして配付した。このことにより、学校の経営理念や目指す児童の姿が明確になり、保護者と教職員の間で指導方法に係る共通理解が図られた。また、学習指導や生徒指導について、経験年数にかかわらず、初任段階層からベテラン層まで、全ての教職員が、同じように児童に指導できるようになり、学校全体の授業の質が高まっている。

#### 欠席・遅刻・早退・見学

**保護者の送迎や連絡が必要です。**

- 欠席・遅刻の連絡は8:15までにお願いします。
- 連絡がない場合は、家庭訪問や勤務先等への電話で確認する場合があります。
- 早退や体育などの見学の時も、担任にご連絡ください。
- 遅刻・早退は安全確保のため保護者の送迎をお願いします。

#### 登校・下校・帰宅時刻

**登校 8:00～8:20**

- 決められた通学路で登校します。
- 8時20分からの朝の活動が始まります。準備の時間も考えて登校しましょう。

**最終下校**

- 5校時→14時15分
- 6校時→15時05分
- 7校時→15時50分
- 8校時→16時40分

**帰宅**

- 4月 17時まで
- 5～8月 18時まで
- 9月 17時30分まで
- 10月 17時まで
- 11～1月 16時まで
- 2～3月 16時30分まで

決められた時刻までに家に入ります。

#### 朝の活動

**8:20～8:30**

**朝学習(月・火・水・金)**

- 学年や学級で計画を立て、10分間集中して国語・算数のドリルやプリント、読書などに取組めます。

**全校朝会・集会(木)**

- 校長講話、歌、学年発表、委員会発表、ゲームなどを行います。
- 司会は児童会が務めます。
- 全校朝会のない日は、木曜日も朝学習を行います。

※毎週金曜日は、フッ化洗口に取り組みます。

#### 遊ぶ場所について

- 他人の家の敷地内へ無断で入らない。
- お家の人がいない家(留守家庭)に入らない。
- 危険な場所へは近寄らないで、安全を確かめて遊ぶ。
- 子ども同士で大喧嘩、映画館、ゲーム店、カラオケ店、ファストフード店に行ったり、川などで釣りをしたりしない。(必ず保護者と一緒に行く)
- 外出、自転車乗りの範囲内は、愛国小学校の校区内です。ただし、4年生以上は保護者の許可を得れば校外場所でも可です。

外出	自転車
図書館(市立・コア)	コアがやき
博物館	運動公園
動物園	動物園(イタリノグロ)
スポーツ施設	

#### 生活

生活に関する注意事項やスケジュールの目録が記載されています。

#### 学習用具

学習に集中できるように、煩や騒の少ないシムルの中を準備してください。

**鞄の中身**

教科書 3・2冊  
5～6冊  
ボールペン(赤・青) 各1本  
消しゴム 15は定規  
三角定規  
分度器

※学年に必要な物は学年便りでお知らせします。

#### 学校に置いておく学習用具

《道具類》

- はさみ
- セロハンテープ
- スティックのり
- 色鉛筆またはクーピー

※印の用具は、道具袋に入れてください。その他の物・教科書などは、お便りでお知らせします。 ※三角定規・分度器は透明なものを準備してください。

#### 学校に置いておくその他の用具

**給食セット**

- エプロン
- マスク
- ハンダナ

週末に持ち帰り、洗濯をして週初めに持ってきてください。

**給食ナプキン**は毎日、洗濯したものを持ってきてください。

**くつ**

- くつ底が白またはあめ色のもの
- ゴム紐かゆるんでいないか確認を
- 500円で販売

**体育帽子**

- 登校後に着け
- 下校前に外します
- 800円で販売

**名札**

- 800円で販売

#### ノートをそろえています

各学年で使用するノート

	国語	算数	道徳	英語	漢字
1年	10冊	7冊	7冊	+	50冊
2年	10冊	7冊	7冊	+	84冊
3年	10冊	7冊	7冊	+	84冊
4年	12冊	7冊	7冊	+	104冊
5年	15冊	7冊	7冊	+	150冊
6年	15冊	7冊	7冊	+	150冊

※その年のノートについては、別紙お便りでお知らせします。

年度当初に保護者に配付することにより、保護者と教職員が情報を共有するとともに、保護者からの問合せに全ての教職員が素早く対応できるようになった。

【「よく分かる！愛国小学校」(保護者版)(一部抜粋)】

年度当初に教職員に配布することにより、教職員の共通理解が図られ、校内の指導が統一されるとともに、児童は、進級したり学級担任が替わったりしても、同じきまりで学校生活を送ることができるようになった。

### 朝学習

登校してから朝学習まで

- 入室時 挨拶をして入る
- 学習道具 机の中に入れる
- 名札 朝のうちに左胸につける
- 係や当番の活動をした後、静かに待つ

#### 学習前の準備

- 机上
- 必要なものだけを置く
- ノート
- 利き手の方に寄せておく
- 教科書
- ノートの上に重ねる
- 筆入れ
- 机の中にしよう

#### 発表の仕方

- 挙手
- 腕をまっすぐ伸ばす
- 声の大きさ
- 全員に聞こえる声で話す
- 話し方
- 丁寧語を使う
- 聞き方
- 発言をしている人を向く
- 発言に対して頷いたり反応を返す
- 呼称
- 学習中は男女とも「さん」をつける

#### 音読の仕方

- 持ち方
- 本を立てる
- 両手で持つ
- 読み方
- 句読点を意識する
- 読めない漢字を確認する

#### 教室の使い方

- 整理整頓
- 持ち出し票に記入
- きれいに戻す
- 破損はすぐに報告

#### 学習指導面

【「よく分かる！愛国小学校(教職員版)」(一部抜粋)】

### (2) 授業スタイルの共有

算数科の指導において、「よく分かる算数～愛国小学校の算数指導～」を活用し、指導方法の統一・徹底・一貫・継続を図っている。

板書では、問題文は白枠、課題は青枠、まとめは赤枠で囲むなど、児童が見通しをもって学習を進められるよう、板書事項の統一を図った。これらが他教科等でも実践されるようになったことにより、児童が進んで学習したり、ノートの書き方を工夫したりするようになった。

また、毎年度、異動してきた教職員の意見を取り入れるなど、内容の見直しを図ることにより、取組の充実を図っている。

2020 綱路市立愛国小学校 よく分かる算数

**【文章問題】**

何を聞いているのか、重要な数字は何か、何算をするのかを考えさせることが大切です。

60まいの色紙を、3人で同じ数ずつ分けました。一人分は何枚になりますか？

板書するときは、問題文で白枠です

★文章の中の立式に必要な数や求める答えを示す部分に、チェックを入れる習慣をつけさせましょう。

①求めたいことは下線(波線)

②式に必要な数字には○

③何算かが分かるところに波線(下線)

「何」という漢字に注目させる(答えになるところ)

【何算かを知る手がかりになる言葉】

たし算→あわせて、たすと、増えると・・・

ひき算→引くと、違いは、減ると・・・

かけ算→～倍、～倍と、

わり算→一人分は、分けると・・・

【「よく分かる算数」(一部抜粋)】



### (3) 人材育成

学校の教育目標の達成を目指し、組織的、継続的な取組を進めていくためには、それぞれのキャリアステージに応じた校内研修の充実を図る必要がある。本校では、教職員が自主的な研修を行う環境づくりと、若手教職員を育てるメンター研修に取り組んでいる。

#### ① 教職員の自主的な研修を保障する取組

今年度から全面実施となった学習指導要領の趣旨やポイント、学習指導に係る情報などを「学校力向上推進チーム便り」として定期的に発行したり、メンター研修の内容を全教職員が活用したいタイミングで活用することができるよう、共有フォルダに保存したりするなど、教職員の研修機会を保障している。

#### ② メンター研修

月1回のメンター研修に加え、各メンティーが率先して自主的な研修を行っている。各教室を回り、教室掲示を参考にしたり、国語科に係る指導法やタブレット端末の使い方を教え合ったりしている。

また、初任者段階教員研修の一環として、同学年内のメンターのシャドーイング研修を行っている。このことにより、メンティー自身も、日頃気が付かなかった細かな指導技術を学ぶことができていた。

今後は、メンターがメンティーの授業を参観し、実際の指導の様子を踏まえ指導の改善を図る研修を予定している。



【メンター研修の様子】

No.	日付	内容	No.	日付	内容
1	8/19	メンター研修の概要	4	10/16	家庭学習の進め方
2	8/21	初任段階教員の振り返り	5	11/17	学級経営について（予定）
3	9/4	自主研修の意義	6	12/1	国語科の指導の具体（予定）

【令和2年度 メンター研修の実施状況】

### Ⅲ 実践の成果（○）と課題（●）

学校評価 教職員用アンケート結果の経年変化 数値は平均値（4点満点）			H30	R1	R2
4	特別支援教育の充実	特別支援学級と通常の学級（通級指導教室）の連携が図られ、児童一人ひとりを大切にされた教育支援が進められている。	3.0	2.8	3.4
12	豊かな心の育成	場に応じた挨拶や言葉遣い、時間を守ることなど、時と場に応じた言動ができる児童の育成に努めている。	3.2	2.9	3.3
19	学びを支える環境	働き方改革の実現に向けて、勤務時間を意識した業務推進を心がけている。	2.6	2.6	2.8

- 学年団方式や教科担任制の取組の実施により、業務の改善が図られ、児童と向き合う時間の確保につながるとともに、効率的に教育活動が推進されることで、学校全体で教育活動の質の高まりが見られた。
- 子ども支援部の新設により、通常の学級も含め、学校全体で特別支援教育の充実が図られ、児童一人一人のニーズに応じるとともに、児童が抱える課題に即座に対応できるようになった。
- 「よく分かる愛国小学校」の作成により、指導方法の統一・徹底が図られ、児童が学習規律を守り、落ち着いて学習に取り組めるようになるとともに、教職員全体の授業力の高まりが見られた。
- メンター研修の推進や研修機会の拡充など、コロナ禍においても全教員の指導力の向上を図り、学習指導を徹底・一貫・継続し、下位層の児童にきめ細かい指導をしていく必要がある。
- 取組を進めていく中で明らかになった成果や課題を日々の取組に生かすため、学期ごとの学校評価や児童アンケートだけではなく、より短いスパンで、客観的なデータを用いて行う検証改善サイクルを確立する必要がある。